

# 平成29年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会

## 市民厚生分科会審査記録

- 1 日 時 平成29年6月22日(木) 午後2時19分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第95号 平成29年度村上市一般会計補正予算(第2号)
- 4 出席委員(11名)

1番 板垣一徳君	2番 板垣千代子君
3番 小林重平君	4番 山田勉君
5番 竹内喜代嗣君	6番 長谷川孝君
7番 小杉和也君	8番 渡辺昌君
9番 尾形修平君	委員長 大滝国吉君
副委員長 鈴木いせ子君	
- 5 欠席委員  
なし
- 6 委員外議員  
なし
- 7 地方自治法第105条による出席者  
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者  
なし
- 9 説明のため出席した者

副市長	忠 聡君
税務課長	建部昌文君
同課収納対策室長	大滝豊君(課長補佐)
市民課長	尾方貞一君
環境課長	中山明君
同課新エネルギー推進室長	田中章穂君(課長補佐)
保健医療課長	信田和子君
同課国保室長	高橋晃君(課長補佐)
同課健康支援室長	中村和子君(課長補佐)
同課健康支援室副参事	川崎健一君
介護高齢課長	小田正浩君
同課介護保険室長	大滝慈光君(課長補佐)
同課介護保険室係長	近藤知子君
同課高齢福祉係長	渋谷直人君
福祉課長	加藤良成君
同課福祉政策室長	木村静子君(課長補佐)
同課福祉政策室副参事	浅野宏君
同課子育て支援室長	平山祐子君(課長補佐)
同課子育て支援室係長	永田ルミ君

同課子育て支援室係長

伊藤 良子 君

10 議会事務局職員

局長 小林 政一  
書記 百武 美奈

(午後2時19分)

特別委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○本日の審査は、一般会計予算・決算審査特別委員会に設置した市民厚生分科会の所管事務について審査を行うこととし、審査は常任委員会の審査の例により行い、分科会の会長には市民厚生常任委員長、副分科会長には市民厚生常任副委員長を充て議事運営を行うこととし、議事進行を市民厚生分科会長に願った。

分科会長(尾形修平君)開会を宣する。

○当分科会の審査については、分科会審査日程概要どおりに進むことに異議なく、そのように決定する。

**日程第1** 議第95号 平成29年度村上市一般会計補正予算(第2号)のうち市民厚生分科会所管分を議題とし、予算付託表記載順に担当課長(福祉課長 加藤良成君、保健医療課長 信田和子君、介護高齢課長 小田正浩君)から、歳入の説明を受けた後歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後歳出についての質疑に入る。

歳入

第15款 県支出金

(説明)

福祉課長 それでは、歳入の7P、8Pをお願いしたいと思う。15款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、1節社会福祉費補助金、説明欄1、重度心身障害者医療費助成事業補助金297万7,000円であるが、対象者に精神障害者保健福祉手帳1級所持者を追加することに伴い、増額計上するものである。補助率は2分の1である。

保健医療課長 続いて、15款2項3目衛生費県補助金、新規事業の地域自殺対策緊急強化事業市町村事業補助金252万7,000円を計上した。これは平成29年3月に厚生労働省より平成29年度の地域自殺対策強化交付金に係るモデル市町村計画事業として公募があり、4月中旬に応募申請した事業で、補助率は10分の10である。

(質疑)

小杉 和也 10分の10の4月応募のやつというのは、全国で幾つぐらい応募があって、幾つ決定したなんていうのわかる。

保健医療課長 正確な数字は聞いていないが、14市町村ほどということでは聞いている。

小杉 和也 全国で、応募が。

保健医療課長 応募イコール決定ではないかなということ。

## 歳出

### 第3款 民生費

(説明)

福祉 課長 それでは、歳出ということで9P、10Pをお願いする。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、説明欄1、民生児童委員経費、民生委員制度創設100周年記念事業補助金16万8,000円であるが、ことしは民生委員制度が創設100周年に当たり、新潟県民生委員児童委員協議会においては、11月15日長岡市を会場に新潟県民生委員児童委員大会の開催と、記念誌の作成が予定されている。その負担分として村上市民生委員児童委員協議会連合会に補助するものである。続いて、説明欄2、重度心身障害者医療費助成経費であるが、対象者に精神障害者保健福祉手帳1級所持者59人を追加することに伴い、9月から2月までの6カ月分の審査支払手数料と医療費助成を増額計上するものである。

介護高齢課長 続いて、介護高齢課所管分である。3款1項3目老人福祉費であるが、30万円を計上させていただいた。内容は高齢者生活支援経費の要援護老人安否確認委託料である。内訳は業務内容に新たに家庭用火災警報器の設置状況の確認と、老人日常生活用具給付事業のチラシ配布、事業の紹介を追加したため、単価が増額したということと対象者の増加に伴う増額となる。以上である。

福祉 課長 続いて、2項児童福祉費、3目児童措置費、説明欄1、保育園運営経費であるが、借地料の11万4,000円については、山居町保育園職員駐車場の借地料で、当初予算において昨年度の契約内容に基づき年間18万円を計上していたが、借地の変更に伴い、契約額が月2万5,000円、年間30万円に変更になったことにより不足分を計上するものである。続いて、工事請負費の175万円についてであるが、山居町保育園の裏口に給食食材搬入車両の駐車スペースをつくるための改修工事費として113万4,000円、山辺里保育園の屋根の修繕工事費として61万6,000円を計上するものである。次に、庁用器具購入費18万4,000円であるが、高南保育園のアンプが故障したことから新たに購入するための経費を計上するものである。次に、機械器具購入費の19万8,000円については、第一保育園の給食用冷凍庫が故障したことから、新たに購入するための経費を計上するものである。続いて、11P、12Pをお願いしたいと思う。説明欄2、子育て支援センター事業経費、普通旅費9万2,000円であるが、本庁と単独施設である朝日子育て支援センター及び上海府子育て支援センターに通う職員、保育士2人分の旅費が不足するから計上するものである。次に、4目学童保育費、説明欄1、学童保育経費、工事請負費617万8,000円であるが、既決予算内で早急に行わなければならない岩船児童館エアコン交換、朝日学童保育所エアコン設置工事を優先させるため、当初予算で執行を予定していた工事を行うためのものを計上するものである。

### 第4款 衛生費

(説明)

保健医療課長 続いて、同じ11P、4款1項保健衛生費、1目保健衛生総務費に13万9,000円を計上した。これは村上市医学生修学資金貸与制度の周知パンフレットを作成するための印刷製本費である。続いて、2目予防費、1、自殺予防対策事業経費に252万7,000円を計上した。これは歳入で説明したモデル事業の地域特性重点特化事業を実施する経費として、講師謝礼等の報償費や説明会参加などの旅費、印刷製本費等を計上し

たものである。

第3款 民生費、第4款 衛生費

(質 疑)

小杉 和也 10Pの重度心身障害者の部分で59名説明があった。さっき条例のところでのどのぐらいの影響があるかと聞いたのは、これ9月から2月分で59名で590万円ということは、概算で約10万円ぐらいを見込んでいるという理解でよろしいか。

福祉 課長 1人当たりになるとそういうことになる。

小杉 和也 そうですでしょう。

福祉政策室副参事 福祉課の副参事です。委員のおっしゃるとおりである。

小杉 和也 12Pの奨学金の周知用のパンフ、何部つくるというの説明がなかったのだ。

保健医療課長 周知用のパンフレットについては、現在のところ500部程度を想定をしている。

小杉 和也 副市長、さっきからいろいろ議論出ていた。村上市民の子供たちにぜひこうのうのを使ってほしいと。そのための周知はやっぱり必要だと、本会議場でも出ていた。ホームページにアップして全国にアピールするものそうだけれども、金額少ないけれども、これ非常に大事だと思う。実際足を運んで説明するとか、その辺のお考えはどうか、この予算で。

副 市 長 確かにおっしゃるように、確かにそう大きな予算ではないけれども、それを親切丁寧に、特に地元を優先して精力的に使ってまいりたいと思う。よろしく願います。

竹内喜代嗣 12Pに学童保育の工事請負費出てくるけれども、今6年生まで学童保育に通えるようになっているかと思うが、支障なく動いていて、エアコンとか大事なところを補修工事ということなのだと思うが、6年生までという点ではどんなふうに動いているかわかるか。6年生までになったのだけれども、実際やっぱり6年生の人もいっぱい来ているのか。

福祉 課長 6年生までいる。だんだんやはり学年が高くなってくると、徐々に人数が減ってきている状況である。一番多いのがやはり1年生が利用している方が一番多い。

竹内喜代嗣 もう一つだけ。その下に自殺予防で出てきているけれども、新潟県が全国で非常に高率の、トップから数えて3位以内ぐらい。新潟県の中でさらに村上市というふうに聞いているわけなのだが、自殺予防対策どんなことをやっているのか。原因の7割が借金問題だと思うが、税金対策だと思うが、そんなことわかるか。わからなかったらいい。

保健医療課長 自殺予防に関しては当市でも計画があって、それに沿って周知とかそういった活動を中心にやっている。また、自殺に関する原因に関してはさまざまな要因が重なったものであるとか、いろいろなものは統計的にはあるが、本当のところはどのかなというところは統計上の内容でしか判断できないものがある。

【賛否態度の発言】

なし

以上で質疑を終結し、賛否態度の発言を求めたが賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第95号のうち市民厚生分科会所管分は、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

○以上で当分科会に付託された案件の審査を終了し、当分科会の報告を分科会長に一任することを決め閉会する。

分科会長（尾形修平君）閉会を宣する。  
（午後2時37分）